

「地域若年層によるイノベ構想理解促進に向けた広報コンテンツ制作・課題解決力育成支援業務」
 公募型プロポーザル 質問書に対する回答書

2026年6月5日

No.	質問項目	質問内容	回答
1	委託業務（1）：情報発信の対象者想定について	内容の「高校生による広報コンテンツ制作及び情報発信活動を支援」とありますが、制作するコンテンツおよび情報発信の対象は誰を想定していますか。ウ⑤情報発信の項目には「若年層」と記載がありますが、現時点での想定はございますか。あるいは、それらも受託者からの提案範疇となりますか。	主に学校関係者や当プログラムへの次期参加者として期待する同世代の高校生等を想定していますが、提案を妨げるものではありません。
2	委託業務（1）：現地活動の想定頻度・回数について	ウ 実施内容③の「現地活動の実施・意見交換等」につきまして、現地活動の回数や頻度について、現時点での想定や最低限実施されたいボリュームなどはございますか。	現地活動の回数や頻度については、現時点で定めはありません。事業目的の達成に効果的と考える内容をご提案ください。 なお、参加者の状況や関係者との調整を踏まえ、ご提案いただいた内容を参考に、最終的な実施回数や視察先等については機構と協議のうえ決定します。
3	委託業務（2）：業務内容の範疇	イ 内容ならびにウ 実施内容の内容に付随してお聞きします。高校生の活動ならびに成果物は、イノベ地域内の課題等について調査・分析・課題解決に向けた提案活動までが範疇で、提案後の課題解決に向けた実際の取組み等は含まない、という認識で齟齬はありませんか。	お見込みのとおりです。
4	委託業務（1）ならび（2）：伴走支援稼働について	委託業務（1）ならびに（2）について、高校生への伴走支援について、機構が想定している活動回数や接触頻度の目安があればご教示ください。また、活動は学校の授業等がない休日での実施を想定していますか。	活動回数や接触頻度の目安はありません。提案内容を具体化するために適した回数や頻度を提案してください。また、活動は学校外（校外活動）を想定しています。
5	委託業務（1）ならび（2）：高校生の選抜方法	高校生の選抜について、現時点で想定されている方法や高校生への告知の仕方について教えてください。参加者の意欲やスキルなどを事前に想定・把握したうえで企画提案ができればと思っております。	当機構のウェブサイト（ https://www.fipo.or.jp/news/43254 ）やプレスリリース等を通じて参加者を募集しているほか、機構が有するネットワークを活用し、広く周知しています。 また、本プログラムは、特定分野に関する知識や経験の有無を問わず、高校生の参加を想定しているため、参加者の知識・経験・意欲等には一定の幅が生じる可能性があります。
6	委託業務（1）ならび（2）：対象となる高校生の属性	本事業は県内高校生を対象とありますが、浜通り地域が主な対象でしょうか？あるいは浜通り地域以外に在住・在校の生徒も対象として考えていますか。	浜通り地域以外も対象とします。当機構のウェブサイト（ https://www.fipo.or.jp/news/43254 ）をご参照ください。

7	委託業務(1)ならび (2): 対象となる高校生の規模	委託業務(1)ならびに(2)それぞれで、対象者数は25名程度とありますが、対象者はそれぞれの事業ごとに集める想定でしょうか(計50名)。	お見込みのとおりです。 なお、参加者数については申込状況等により変動する可能性があります。
8	委託業務(1)ならび (2): 企画提案の方向性	委託業務(1)ならびに(2)について、参加者を同じ対象として、両事業を一体的に設計する提案は可能でしょうか。	今年度は、委託業務(1)及び(2)をそれぞれ独立した事業(プログラム)として実施することを想定しています。
9	委託業務(1)ならび (2): 活動形式	委託業務(1)ならびに(2)について、高校生の活動形式は個人/チームのどちらでしょうか。チーム単位の場合は、学校ごとか混合チームを編成する予定でしょうか。あるいはこちらについても受託者からの提案範囲となりますか。	活動形式は決めておりません。事業目的達成に効果的な形式をご提案ください。ただし、参加者の希望や調整状況によっては、学校単位での参加となる可能性があります。
10	委託業務(1)ならび (2): 教員・学校関係者との連携	本事業における活動については、参加高校生が在籍する学校の教員や学校関係者は引率や同行、活動の伴走はされますか。受託者がどれくらい学校との連携を必要とするのかを確認したい次第です。	No.4のとおり、本事業は校外活動として実施するため、高校生の自主的な参加を基本とします。教員や学校関係者の引率は想定していません。 ただし、安全管理等の観点から、必要に応じて行程表等の情報を学校へ共有する場合があります。
11	委託業務(1)ならび (2): イノベ地域内のカパーリング	浜通り地域等の15市町村は当該事業においてすべて網羅する必要はありますか。結果として高校生たちが取り上げない/現地活動を行わない市町村が出て問題ないのでしょうか。	すべてを網羅する必要はありません。
12	委託業務(1)ならび (2): 成果発表(交流会)の開催規模	(1)ウ④ならびに(2)ウ④の成果発表(交流会)の実施について、想定参加対象者(保護者。学校関係者、地域事業者等)や人数規模があればご教示いただきたい。	参加者は高校生のほか、地域事業者等、保護者、学校関係者等を想定していますが、より多くの方にご参加いただく提案を妨げるものではありません。なお、保護者や学校関係者等の参加については自由意思によるものとします。
13	委託業務(3): 交通費の考え方	「高校生の交通費は集合場所から現地までの往復分を対象」とあるが、集合場所は現地活動・意見交換等の会場最寄り駅等に設定することは問題ありませんか。それとも、高校生の居住区近隣にて設定する必要がありますか。	集合場所は高校生が自身で移動できる場所とすることが望ましいです。 例) 福島駅や郡山駅などの主要駅
14	委託業務(4): 安全管理責任の役割分担	高校生の安全管理責任における、機構と受託者との役割分担想定についてお聞かせください。	最終的な責任は委託者である機構が負いますが、詳細については、協議のうえ決定します。
15	委託業務(4): 安全対策の事例	過年度事業において、参加者等の安全対策を目的とした各種対策について参考となりうる情報をお聞かせください。(例: 加入した保険の内容や補償水準)	各事業者(受託者)の責任において判断し加入しています。参考として国土交通省が策定した「輸送の安全を確保するための貸切バス選定・利用ガイドライン」(https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_tk2_000011.html)をご覧ください。
16	委託業務(5): 成果物の参考例	動画制作において、過年度成果物や参考イメージがあればご教示いただけますか。	特にありません。

17	委託業務（5）：LP公開後の想定運用	LP公開後の運用・保守について、本事業期間内で求める更新頻度の想定はございますか。	現時点では想定していません。
18	事業全般：再委託に関する制約	本事業を実施するにあたり、専門的知見を有する外部人材や専門事業者を活用する場合、再委託等に関する制約事項があればご教示ください。	事業の実施に当たり、その内容が第三者に委託することが合理的であると認められるものについては、業務の一部を再委託することができます。なお、一部を再委託する場合は、契約締結後、事前に機構へ届出を行うものとし、再委託先の業務については受託者が責任を負うものとしします。（詳細は契約締結時にお示しする契約書をご確認ください。）
19	事業全体について	仕様書内容のうち特に重視しているポイントはどこか。	企画提案の幅を狭める可能性があるのですが、仕様書案から重視するポイントを見定めて提案いただければと思います。
20	事業全体について	本事業は「探究学習」の位置づけか。	学校カリキュラム外の参加生徒の自主的活動です。（No.4、No.10を参照）
21	事業全体について	想定する高校生参加者のレベル（スペック）等はどのようなレベルの生徒を想定しているか。	No.5を参照
22	(1)高校生による広報コンテンツ制作支援-ウ-③	現地活動の日数想定はどの程度想定しているか。	参加する高校生のスケジュールを勘案したうえで、事業目的を達成に必要な日数とします。（No.2を参照）
23	(1)高校生による広報コンテンツ制作支援および（2）高校生による課題解決力育成支援	アドバイザー、パートナーの提案（選出の方向性）についてはどのような方向性を想定しているか。	（1）高校生による広報コンテンツ制作支援のアドバイザーについては、高校生にとって魅力的であり、本事業の目的達成に資する人材をご提案ください。なお、イノベ地域との関わりの有無は問いません。 （2）高校生による課題解決力育成支援のパートナーについては、イノベ地域や現状を知りえる方、高校生と協働いただくことにふさわしい方などをご提案ください。
24	(1)高校生による広報コンテンツ制作支援および（2）高校生による課題解決力育成支援	成果発表会の規模・公開の範囲はどの程度の内容を想定しているか。	提案する会場のキャパシティや立地等を勘案しご提案ください。公開の範囲は、No.12を参照ください。
25	(1)高校生による広報コンテンツ制作支援および（2）高校生による課題解決力育成支援	成果指標はどの程度の発信・拡散を想定しているか。	成果指標について、現時点で具体的な発信件数や拡散規模は定めていません。当プログラムが学校関係者や次期参加者として期待する高校生等に広く認知されるよう、効果的と考える内容をご提案ください。